未来を担う人づくりのために 第2次厚木市 教育振興基本計画

第2期実施計画

計画期間

令和6(2024)年~令和8(2026)年度

令和6(2024)年4月 厚木市教育委員会

目次

新 L L	草 実	ルピュー		10.		₩ U.	_													
1	目的	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	位置	付け	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
3	計画期	期間	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• (•	•	•	•	•	•	•	1
4	策定	体制	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
5	実施	計画	事業	Ě	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
6	進行	管理	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
7	計画	構成	义	•	•	•	•	•	•	• (•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
第2章	章 実	施計	画	淂	琴	崖														
第2章 1	美 基本			i事 ·	事	美		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• •	5
_		方針	1] ·		巻 ·		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	5 11
1	基本	方針 方針	1 2	<u></u> 。		Ě · · ·		•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	
1 2	基本	方針 方針 方針	1 2 3	i		崔 · · ·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	11
1 2 3	基本基本	方針 方針 方針 方針	1 2 3 4	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	11 13
1 2 3 4	基本基本基本	方針 方針 方針 方針 方針	1 2 3 4 5	•	•	•						•	•		•	•		•	•	11 13 17
1 2 3 4 5	基本基本基本基本	方針方方方方針	1 2 3 4 5 6	•	•	•	•	•	•	•	•									11 13 17 21

第1章 実施計画の概要

1 目的

厚木市教育委員会は、令和3(2021)年度から12年間を計画期間とする第2次厚木市教育振興基本計画を策定し、基本理念である「未来を担う人づくり」の推進に向けた教育施策を展開しています。各施策を計画的かつ効果的に運営するため、三つの基本目標と八つの基本方針を設けるとともに、社会の変化や教育を取り巻く課題に迅速に対応していくため、1期3年間を単位とする実施計画を定めています。

第2次厚木市教育振興基本計画第2期実施計画(以下「本計画」という。)は、第1期(令和3~5年度)の計画期間満了に伴い策定しました。

2 位置付け

本計画は、毎年度の予算編成及び事業実施の具体的な指針として位置付けています。 策定に当たっては、国の「第4次教育振興基本計画」、「第10次厚木市総合計画第2 期実施計画」、「厚木市教育大綱」などと整合を図っています。

また引き続き、令和12(2030)年を期限とする国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の推進に貢献するものです。

3 計画期間

本計画は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間を計画期間とします。

基本理念·基本目	1標(12年)		
基本方針(6年)		基本方針(6年)	
実施計画(3年)	実施計画(3年)	実施計画(3年)	実施計画(3年)
第1期	第2期	第3期	第4期
令和3~5年度	令和6~8年度	令和9~11 年度	令和 12~14 年度

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

4 策定体制

本計画は、教育委員会事務局の部長職と課長職で構成される庁内組織「厚木市教育 振興基本計画庁内推進委員会」において検討を進めました。

5 実施計画事業

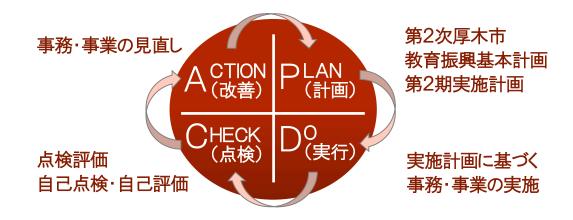
本計画に位置付ける事業は、「第 10 次厚木市総合計画第 2 期実施計画」に位置付けられた事業を基本としています。

また、上記に該当しない事業であり、本計画の基本理念や基本目標などの実現に欠かせない取組については「主要な取組」として位置付けています。

6 進行管理

本計画の進行管理は、事務·事業を担当する課等の自己点検·自己評価とともに、「地 方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき毎年度実施している点検評 価による外部評価を活用します。

また、基本方針ごとに代表となる指標を設定し、包括的な視点から効果や改善点を検証することで、本計画全体の達成度合いを確認しながら事務・事業の見直しを行います (代表指標には、P.5以降の実施計画事業の指標欄に★印を付けています)。



第1章 実施計画の概要



計画を支える『安心』と『協働』

計画を実現するために欠かせない取組として、「**誰もが安心し** の協働による特色ある学校づくりと地域づくりの推進」を掲げ、

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

未来の担い手となるために「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育み、心豊かにたくましく生きる力を培います。

教職員が子どもたちと向き合う時間の確保に取り組み、自信とゆとりを持って指導に当たることができるよう支援します。

地域をつくる人々と共に安全な環境づくりに取り組み、子どもたちが 快適に学べる質の高い学習環境を整えます。

人権や多様性の大切さを学ぶとともに、誰もが安心して自分の可能性 や個性を伸ばせる教育を推進します。

家庭・地域・学校のつながりをより一層深め、協働して地域の宝である子どもたちを育みます。

特色ある公民館活動や地域活動による住民同士の学び合いなどを通 して、豊かな地域づくりと担い手づくりを推進します。

ふるさと厚木の自然や歴史、文化に触れて郷土愛を育むとともに、 生涯にわたって学べる機会の充実を図ります。

いつまでもいきいきと運動できる環境を整備し、充実したスポーツ・レクリエーション活動を通して活力ある地域づくりを推進します。

て学び、自分の力を発揮できる環境づくりの推進」と「家庭・地域・学校 未来を担う人づくりに向けた計画の推進を支えます。

実施計画



実施計画事業

基本方針 1

自立につながる「生きる力」の育成

未来の担い手となるために「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」 をバランス良く育み、心豊かにたくましく生きる力を培います。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
教材等支援事業費 (小・中学校)	教材·教具消耗品や実習材料等の購入費の一部を公費で負担することにより、保護者の経済的負担の軽減を図ります。
学校給食食育推進事 業費	食に関する指導の教材として、地域で収穫される農産物を学校給食の食材として用いることにより、地域の食や食文化について理解を深めるとともに、生産者や食べ物への感謝の心を育みます。
英語教育推進事業費	児童・生徒に国際理解の素地を培い、英語によるコミュニケーション能力を育む英語教育を推進するため、市立小・中学校に英語を母語とする外国語指導助手(ALT)を配置します。
グローバル教育交流 事業費	市及び市教育委員会とエデュケーション·ニュージーランドとの教育交流に関する了解覚書締結に基づき、ニュージーランドと教員・児童・生徒及び学校間との交流を活性化し、児童・生徒の国際理解の促進を図ります。
小中一貫教育推進事業費	義務教育9年間を見通した教育課程の編成と指導の工夫改善のため、中 学校区での研修を行います。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)









事業指標			目標値		
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
保護者負担軽減割合	%	20	20	20	教育総務課
① 地場農産物の導入回数 ② 給食の残さ量(一人 当たり)	① 回 ② kg	① 33 ② (小)1.83 (中)3.42	① 33 ② (小)1.73 (中)3.32	① 33 ② (小)1.63 (中)3.22	学校給食課
★ ① 「英語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思う」と答えた生徒の割合② 「ALTとの授業は楽しい」と答えた児童の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教育指導課
「オンラインでの活動や 留学体験を通して、言語 や文化について考えた り、学んだりすることが できた」と答えた児童・ 生徒の割合	%	97	99	100	教育指導課
① 市全体の、前年度小学 6年生不登校児童の割合 に対する中学1年生不登 校生徒の割合 ② 全国学力・学習状況調 査の全国平均正答率との 比較ポイントの伸び	ポイ ント	① 2.0 ② 2.8	① 1.8 ② 2.8	① 1.8 ② 2.8	教育指導課



実 施 計 画 事 業 名	事業内容
SEL教育基金事業 費	厚木市SEL教育基金条例に基づき、確かな学力を身に付けた心豊かで健康な児童及び生徒を育成するために、厚木こども科学賞、理科·科学教育推進のための事業等を実施します。
特色ある学校づくり交付金(小・中学校)	市立小・中学校が、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、地域との絆を大切にした特色ある学校づくりを推進し、各校の重要課題や新たな課題等への対応を図るため、各校からの申請に基づき必要な経費を交付します。
カーボンニュートラ ル教育推進事業費 (小・中学校)	市立小・中学校においてカーボンニュートラルに関する取組を実施する に当たり、基礎的な事項を学ぶ機会を設け、意識付けを図ります。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

事 業 指 標			目標値		Im 1/4 = m
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
① こども科学賞展示会の来場者のうち、科学や自然に対する興味・関心や研究への意欲が高まった児童・生徒の割合②「おもしろ理科教室」の内容が、これからの学習や生活に役立つと思った割合	%	① 100 ② 89	① 100 ② 90	① 100 ② 91	教育指導課
★ ① 全国学力·学習 別調査の児童·生徒の 関における「学校に行す のは楽しいと対するが のは楽しいに対するが のは楽しいに対するが のででは、 のでは、	%	① 90 ② 100 ③ 100	① 95 ② 100 ③ 100	① 100 ② 100 ③ 100	教育指導課
カーボンニュートラル について、自分にもでき ることがあることに気 づくことができた児童・ 生徒の割合	%	84	88	92	教育指導課



実 施 計 画 事 業 名	事業内容
小学校児童支援推進事業費	不登校やいじめ、問題行動などに対して、きめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣し、落ち着いた学校生活や学力の向上を図 ります。
中学校少人数学級実施事業費	学校の実態に応じて少人数の学級編成を行うため、中学校に非常勤講師 を派遣し、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことにより、学力 の向上や問題行動と不登校の減少を図ります。

【主要な取組】

	取 組 内 容
小・中学校給食費の 無償化	子どもたちの健康な成長を促進するとともに保護者の経済的負担を軽減 するため、令和6年度から小・中学校給食費の無償化に取り組みます。
「学校教育情報化 推進計画」の推進	児童・生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出すため、本市の学校教育情報化の推進方針と具体的な取組を定めた「厚木市学校教育情報化推進計画」(計画期間:令和6~8年度)に基づき、学校の教育情報化を推進します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

事 業 指 標			目標値		
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
① 「児童の学習意欲が 向上した」と感じる学校 の割合 ② 「児童の生活態度が 向上した」と感じる学校 の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教職員課
① 「生徒の学習意欲が 向上した」と感じる学校 の割合 ② 「生徒の生活態度が 向上した」と感じる学校 の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教職員課

	担 当 課				
・市立小・中学校に学籍 化します。・市立小・中学校に学籍 い児童・生徒や厚木市 木市立小・中学校に学 者を対象に、学校給食	があり、ア に住民登録 籍がない学	レルギー等の事 があり、かつ、 齢期にある私立	情により給食を 市内に居住して の小・中学校右	を受食していな こいる者で、厚	学校給食課
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
★ 学校教育情報化推 進計画に定めた「評価 指標」の達成率	%	33.3	66.6	100	教育研究所



子どもたちを育てる支援体制の充実

教職員が子どもたちと向き合う時間の確保に取り組み、自信とゆとりを 持って指導に当たることができるよう支援します。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
学力ステップアッ プ支援員配置事業 費	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を通して、学ぶ意欲を育てるとともに、学力の向上を図るため、児童・生徒の学習をサポートする学力ステップアップ支援員を市立小・中学校に配置します。
教育調査研究部会運営費	教育の新たな動向や今日的な課題に対応するため、教職員等で構成する研究部会をテーマごとに設け、毎月1回程度部会を開き、課題解決に向けての調査研究や、教材・資料の作成を行います。また、各校の情報教育の担当者に対し、情報教育推進連絡会を開催します。
教育資料提供事業費	学校・家庭・地域社会における教育を支援するため、児童・生徒用の教材や、研究の成果をまとめた研究紀要等を作成・提供します。また、教職員を始めとする教育関係者の実践をまとめた教育実践記録集の発行や、教育に関する資料の収集・提供を行います。
先生のための研修 事業費	教育に関する国・県の動向や今日的課題を踏まえた希望制研修、各学校の担当者等の専門性の向上を図るための指定研修、初任者研修、新規臨時的任用教員研修、教育研究発表会・教育講演会等を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図ります。

【主要な取組】

取組内容				
働き方改革「アクションプラン」の推進	令和2年3月に策定した「厚木市立小・中学校における働き方改革に関する方針」に基づき、令和6~8年度の具体的な取組を定めた「アクションプラン」を推進します。			

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GALS





事業指標		目標値		I	
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
★ ① 「学力ステップアップ 支援員との協働により基礎 的・基本的な学習の定着や学 力向上につながるような授業 展開ができた」と思う教員の 割合 ★ ② 「先生と支援員がいる ことで学習が分かりやすく意 欲的に取り組める」と思う児 童・生徒の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教育指導課
研究成果や教育情報の実用度	%	100	100	100	教育研究所
教育調査研究部会運営費と共通	<u> </u>				教育研究所
受講内容を実践に役立てることができるとする教職員の割合	%	100	100	100	教育研究所

指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
① 「アクションプラン」重点 取組の達成率 ★ ② 学校アンケート「働き 方改革が進んでいると思う か」で「はい」と回答した学校 の割合	%	① 78 ② 74	 \$9 \$87 	① 100 ② 100	教育総務課



安全な教育環境の整備

地域をつくる人々と共に安全な環境づくりに取り組み、子どもたちが 快適に学べる質の高い学習環境を整えます。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
小中学校通学区域再 編成委員会運営費	市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市の考え方や方向性を定めた「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、適正規模の範囲を上回る又は下回る学校について、通学区域の再編成を含めた学校規模等適正化の取組を推進します。
小中学校プール施設 最適化推進事業費	小・中学校プール施設の老朽化に対応しながら、児童・生徒により安全 で質の高い水泳指導を提供するため、令和5年度策定の「市立小・中学 校の水泳授業及びプールの在り方に関する基本方針」に基づき、小学校 の水泳授業における屋内プールの活用等を進めていきます。
児童·生徒登下校等安 全推進事業費	児童・生徒が安心して登下校できるようにするため、防犯ブザーの配布 や学童通学誘導員の配置等を行います。
小中学校学校施設最 適化推進事業費	老朽化が進んだ校舎や体育館の施設建て替え整備に係る基本計画の策 定等を行います。
依知南小学校施設整 備事業費	老朽化が進んだ依知南小学校中央棟校舎及び西棟校舎の施設建て替え 整備を行います。
緑ケ丘小学校施設整 備事業費	老朽化が進んだ緑ケ丘小学校東棟校舎及び西棟校舎の施設建て替え整備を行います。
北小学校施設整備事業費	老朽化が進んだ北小学校南棟校舎の施設建て替え整備を行います。
特別教室冷暖房設備 設置事業費(小·中学 校)	児童・生徒が快適な教育環境の中で安心して安全に学校生活を送ること ができるよう、小・中学校の特別教室等に冷暖房設備を設置します。
体育館冷暖房設備設 置事業費(小·中学校)	児童・生徒が快適な教育環境の中で安心して安全に学校生活を送ることができるよう、小・中学校の体育館に冷暖房設備を設置します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)







事 業 指 標		目標値			Jen 14 - Em
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
「厚木市立小・中学校の 適正規模・適正配置に関 する基本方針」に基づく 取組の実施	_	地域計画の 検討	地域計画の 検討	地域計画の 検討	教育総務課
屋内市民プール等を活 用して水泳授業を実施 した小学校数	校	2	4	6	教育総務課
児童の防犯ブザー携帯 率	%	100	100	100	学務課
基本計画策定校数	校	1	2	4	学校施設課
依知南小学校施設整備 の進捗状況	_	事業者選定· 仮設校舎設 置	実施設計 · 既 存校舎解体	新校舎建設 着手	学校施設課
緑ケ丘小学校施設整備 の進捗状況	_	事業者選定· 仮設校舎設 置	実施設計·既 存校舎解体	新校舎建設着手	学校施設課
北小学校施設整備の進 捗状況	_	基本設計	実施設計	仮設校舎設 置·既存校舎 解体着手	学校施設課
設置校数	校	9	7	1	学校施設課
★ 設置校数	校	14	14	8	学校施設課



実 施 計 画 事 業 名	事業内容
校舎·体育館改修事業 費(長寿命化)(小·中 学校)	児童・生徒が快適な教育環境の中で安心して安全に学校生活を送ること ができるよう、校舎及び体育館の長寿命化(機能回復・機能向上)改修 を行います。
校庭整備事業費(小·中学校)	児童・生徒が快適な屋外施設環境の中で安心して安全に学校生活を送る ことができるよう、校庭の測量・改修設計委託、次年度以降に改修工事 を行います。
インターナショナル セーフスクール推進 事業費	インターナショナルセーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごすことができる学校づくりを支援します。また、 清水小学校、妻田小学校及び睦合東中学校の再認証に向けた支援を実施 します。
青少年非行防止活動 事業費	青少年の問題行動の未然防止、早期発見のために、青少年相談員や社会 教育指導員などが繁華街や駅前を巡回し、声掛け指導を行います。また、 薬物乱用の防止を呼びかけるために「心と街のクリーン作戦」等の啓発 活動を実施します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

事 業 指 標			目標値		
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
機能回復・機能向上校数	校	2	3	4	学校施設課
校庭改修校数	校	1	1	未定	学校施設課
① インターナショナルセーフスクール認証取得回数(累計)★② インターナショナルセーフスクールの取組を通して、自分の学校の安心・安全な環境づくりが充実したと思う児童・生徒の割合	① 回	①清水小5 妻田小2 睦合東中3 ② 90	①清水小6 妻田小3 睦合東中4 ② 90	①清水小6 妻田小3 睦合東中4 ② 90	教育指導課
街頭指導において声掛けをした青少年のうち 不良行為を認知し、指導した割合	%	3.8	3.7	3.6	青少年教育 相談センタ 一



安心して共に学べる教育の推進

人権や多様性の大切さを学ぶとともに、誰もが安心して自分の可能性 や個性を伸ばせる教育を推進します。

実 施 計 画 事 業 名	事 業 内 容
人権教育·啓発推進事 業費	全ての市民の、人権に対する意識をより高めていくため、人権講座「ヒューマンカレッジ」等を開催するとともに、人権について積極的に啓発します。
要保護及び準要保護 児童・生徒就学援助事 業費(小・中学校)	教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な児童·生 徒の保護者に、学用品等の経費の一部を支給します。
特別支援学級等就学 奨励事業費(小·中学 校)	教育の機会均等を図るため、特別支援学級等に就学する児童·生徒の保護者に、学用品等の経費の一部を支給します。
特別支援教育推進事業費	特別な支援を必要とする児童・生徒に対する総合的な支援体制を整備するため、市立小・中学校に学校教育指導員を派遣するほか、特別支援教育介助員の配置等を行います。また、特別な支援を必要とする子どもへの適切な就学相談、就学指導を行うため、「厚木市教育支援委員会」を運営し、学校教育において、全ての子どもが生き生きと学ぶ環境づくりを推進するとともに、特別支援教育の充実を図ります。
インクルーシブ教育 推進事業費	共生社会の実現に向けて、全ての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つことを目指すインクルーシブ教育を推進するため、推進協力校において支援体制づくりや環境整備等について研究を行います。また、一人一人の可能性を伸ばし自己実現が図れるよう、支援が必要な児童・生徒への一貫した切れ目のない支援体制を確立します。
外国籍児童·生徒等支 援事業費	日本語が理解できず学校生活に支障をきたす外国籍児童·生徒及び帰国児童·生徒に対し、母語等の話せる日本語指導協力者を派遣するとともに、外国籍児童·生徒が多く在籍する学校で、放課後等を利用し、日本語の習得や学習補助を目的とした補習教室を開設するための支援員を派遣します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GALS









代表指標 事業指標		目標値			
指標名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
人権講座参加者の人権 意識高揚度	%	94.5	95.0	95.5	教育総務課
就学援助認定者に対する援助費の支給率	%	100	100	100	学務課
特別支援学級等認定者 に対する援助費の支給 率	%	100	100	100	学務課
★ ① 校内支援体制が整っている学校の割合② 特別な支援を必要とする児童・生徒に対する特別支援教育介助員の配置の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教育指導課
★ 校内支援体制が整っ ている学校の割合	%	100	100	100	教育指導課
① 日本語指導が必要な 児童・生徒支援のための 人材派遣の割合 ★ ② 日本語指導教室 の支援体制の充実度	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教育指導課



実 施 計 画 事 業 名	事 業 内 容
学校支援プロジェク ト推進事業費	児童・生徒の問題行動に対し、関係機関と連携してプロジェクトチームを組織し、一人一人に適した対応を図るとともに、定期的に学校訪問を行い、必要な情報を収集し、問題行動の未然防止の観点から、管理職や担当教員に対し、組織的かつ効果的な児童・生徒指導について助言します。
青少年教育相談事業費	学校生活等において悩みを抱える青少年やその保護者に対し、青少年心理相談員、家庭訪問相談員及び教育ネットワークコーディネーターが教育相談を行います。また、小学校へスクールカウンセラーを派遣、小・中学校へ「こころスマイル支援員」を配置し、児童・生徒や保護者、教職員からの相談に対応します。さらに、複雑化・多様化するケースについては、関係機関等と連携し、学校に対して専門的助言・援助を行います。
登校支援推進事業費	不登校を未然に防ぐため、毎月実施する学校計画訪問を通して状況把握を行い、課題改善に向けた校内の教育相談体制の構築を支援し、学校と連携した不登校対策を実施します。また、不登校児童・生徒が安心して落ち着ける居場所「校内教育支援センター フリールーム」における支援の充実に取り組み、不登校の改善や社会的自立を目指します。
教育支援教室運営事 業 費	不登校児童・生徒が、小集団での学習や体験活動を通して心の安定を図り、社会的自立を目指していけるように、個に応じた支援や学習指導を行います。また、保護者を対象にセミナーを行い、情報交換と保護者同士のネットワークづくりを推進します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

事業指標			Imm		
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
① 定期的な学校訪問が問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があったと評価する学校の割合② プロジェクトチームを組織することにより、関係諸機関と連携した対応がより円滑に進められたと回答した学校の割合	%	① 100 ② 100	① 100 ② 100	① 100 ② 100	教育指導課
① 青少年心理相談員との教育相談を通して好ましい変化が見られるようになった割合 ② こころスマイル支援員に関わった児童・生徒の満足度	%	① 98 ② 94	① 98 ② 94	① 98 ② 94	青少年教育 相談センタ 一
★ 不登校の児童・生徒が 登校支援によって改善し た割合	%	83	84	85	青少年教育 相談センタ 一
教育支援教室での指導に より登校できるようにな った、又は好ましい変化 が見られるようになった 通室生の割合	%	100	100	100	青少年教育 相談センタ 一



家庭・地域・学校の協働の推進

家庭・地域・学校のつながりをより一層深め、協働して地域の宝である 子どもたちを育みます。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
地域学校協働活動事業費	地域学校協働活動推進員の謝礼や統括コーディネーターの報酬及び活動を推進するための研修やフォーラムを開催します。
家庭教育学級交付金	教育の出発点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、小・中学校PTA等が家庭教育学級を開設できるように支援し、交付金を交付します。
家庭教育情報提供事業	家庭教育の必要性や重要性を啓発するとともに、家庭教育に必要な情報 を提供するために、乳幼児、小・中学生等の保護者などを対象に講演会 等を開催します。

【主要な取組】

取 組 内 容			
コミュニティ·スクー ル推進事業費	学校・保護者・地域が協働しながら、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を支えていく、学校運営協議会制度「コミュニティ・スクール(CS)」の活動を支援します。		

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)







事 業 指 標		目標値			t==
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担 当 課
★ 地域学校協働活動推 進員を委嘱した地区数 (累計)	地区	11	15	15	市民協働推進課
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.5	97.5	97.5	市民協働推進課
家庭教育学級交付金と共通					市民協働推進課

指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
★ 学校アンケート「C Sの導入により、学校と 地域との距離は近くな ったと思うか」で「はい」 と回答した学校の割合	%	87	93	100	教育総務課



地域主体で取り組む社会教育の振興

特色ある公民館活動や地域活動による住民同士の学び合いなどを通 して、豊かな地域づくりと担い手づくりを推進します。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
厚木北公民館整備事業費	社会教育及び地域コミュニティの活動拠点としての機能充実を図るため、厚木北公民館の再整備を進め、令和6年度中の完成を目指します。
公民館活動事業費	地域の特性をいかした各種事業を開催し、地域コミュニティの充実を図るとともに、各種学級・講座を通して市民の教養の向上等を図ります。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)







事 業 指 標		目標値			
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
「厚木市公共施設個別 施設計画」に基づく取組 の実施	_	新築工事完了	供用開始	_	市民協働推進課
★ 学級・講座参加者の 満足度	%	79.6	81.3	83.0	市民協働推進課



地域文化の振興と自主的な学びの支援

ふるさと厚木の自然や歴史、文化に触れて郷土愛を育むとともに、生涯にわたって学べる機会の充実を図ります。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
図書館整備事業費	中町第2-2地区に整備される複合施設内に、市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点となる新図書館を整備します。
電子図書館事業費	読書活動を推進するため、いつでもどこでも、365 日 24 時間、インターネットを通じて、電子書籍の検索、貸出、返却、閲覧が可能な電子図書館サービスを提供します。
あつぎ郷土博物館活 動推進事業費	博物館活動の推進を図り、生涯学習の拠点として、ふるさと厚木の文化や歴史、自然に触れて郷土愛を育むとともに、生涯にわたって学べる機会の充実を図ります。
あつぎ郷土博物館特 別展示事業費	各種展示、講座の開催等を通じ生涯学習の拠点としてあつぎ郷土博物館 が行ってきた歴史、民俗、生物分野に関する研究や調査の知見に基づき、 展示会、講演会等を実施し、研究等の成果を市民に還元します。
市史編さん事業費	本市の歴史的変遷を後世に継承するため、「厚木市史」の発刊を目指し、 歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行います。
郷土芸能事業費	厚木市の誇るべき郷土芸能を後世に継承するため、児童・生徒を始め全ての市民が鑑賞できる機会を数多く設けます。また、後継者育成のため、体験教室や郷土芸能学校を開設します。

【主要な取組】

	取組内容
読書活動へのアプロ ーチの実施	読書活動の習慣化と読書が好きな子どもの育成を図るため、子どもの発達段階に応じた読書活動へのアプローチを実施します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)







事業指標			I 11		
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
新たな図書館整備に向け た進捗状況	_	実施設計及 び建設工事	建設工事	建設工事	中央図書館
★ 電子書籍貸出点数	点	13,000	14,000	15,000	中央図書館
★ あつぎ郷土博物館の 講座及び展示における満 足度	%	96	98	100	文化魅力創 造課
あつぎ郷土博物館活動推進事業費と共通					文化魅力創造課
市史発行数	₩	15	16	16	文化魅力創 造課
郷土芸能の公演及び体験 講座の参加者数	人	8,700	8,750	8,800	文化魅力創 造課

指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
出生児数に対するブッ クスタート参加率	%	47	48	49	中央図書館



スポーツ活動の推進

いつまでもいきいきと運動できる環境を整備し、充実したスポーツ・レクリエーション活動を通して活力ある地域づくりを推進します。

実 施 計 画 事 業 名	事業内容
市民スポーツ活動推 進事業費	多くの市民にスポーツに触れる機会を提供するため、ニュースポーツを 体験するスポーツなじみDAYなどを開催します。
スポーツ推進事業補助金	(公財)厚木市スポーツ協会が行う生涯スポーツの普及・推進事業に要する経費に対して補助金を交付し、スポーツ人口の拡大を図ります。
あつぎスポーツアカ デミー推進事業補助 金	(公財) 厚木市スポーツ協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に 補助金を交付し、将来のトップアスリートを目指すジュニアの育成や指 導者の養成などを行います。
市民体力向上推進事業費	幼児から高齢者までの幅広い世代の体力向上や健康増進を図るために 著名人による講演会等の実施や学校法人日本体育大学との連携を通じ て、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツ人口の拡大とトップアス リートの輩出を図ります。
スポーツ推進委員養成事業費	地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域の リーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員の養成のための研修会な どを行います。
競技団体選手強化事業交付金	競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等の事業に対し、交付金を交付します。
全国大会等出場奨励 事業費	競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民に奨励金を 交付します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

関連する持続可能な開発目標(SDGs)











事業指標		目標値			
指標名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担 当 課
★ スポーツ行事の参加 者数	人	18,300	18,300	18,300	スポーツ 魅力創造課
市民スポーツ活動推進事	業費と共通	i			スポーツ魅力創造課
あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	%	100	100	100	ス ポ ー ツ 魅力創造課
講師派遣事業の参加者 数		800	800	800	ス ポ ー ツ 魅力創造課
スポーツ指導者養成研修等参加者数	人	1,130	1,140	1,150	ス ポ ー ツ 魅力創造課
全国大会出場者数	人	530	530	530	スポーツ魅力創造課
競技団体選手強化事業交	付金と共通	i			ス ポ 一 ツ 魅力創造課



実 施 計 画 事 業 名	事業内容
グラウンド・ゴルフ場 整備事業費	市民の健康増進と生涯スポーツの推進を図るため、子どもから高齢者まで楽しむことができる新たな施設として、グラウンド・ゴルフ場を整備します。
スポーツの聖地計画策定事業費	トップアスリートのプレーが観戦できる「みるスポーツ施設」、全ての市民が快適にプレーでき、各種目の活動拠点となるような「するスポーツ施設」、それぞれの施設の整備等について、今後の方向性を位置付けていくことで、スポーツの聖地づくりを推進します。
スポーツ合宿誘致事業補助金	本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用するスポーツ合宿等を行う団体・ 個人に対して、宿泊費の一部を補助する補助金を交付します。

第2次教育振興基本計画第2期実施計画

事 業 指 標		目標値			t= ==
指 標 名	単 位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	担当課
グラウンド・ゴルフ場 整備の進捗状況	_	進入路整備 · 井戸設置	コンテナ設 置·事業完了	-	スポーツ 魅力創造課
計画策定の進捗状況	I	基本構想·基 本計画策定 支援業務委 託	基本構想·基 本計画策定	-	ス ポ 一 ツ 魅力創造課
★ 補助金交付人数	人	750	750	750	ス ポ 一 ツ 魅力創造課

第2次厚木市教育振興基本計画 第2期実施計画

発行年月 令和6(2024)年4月

発 行 厚木市教育委員会

編集厚木市教育委員会教育部教育総務課

〒243-8511 厚木市中町3-17-17

電 話 046-223-1511(代)